

1.研修プログラムの名称

産科・婦人科研修プログラム

2.研修概要（理念・特徴）

医師としての心構えおよびチーム医療の実践

3.到達目標

産婦人科診療を通じて基本的な知識・技術・態度をより確実なものとする。

妊娠・分娩に至る過程の理解を深め、婦人科疾患患者や不妊症患者についても、その知識と患者心理への理解度を深める。

緊急症例に対しても、指導医とともに診療に参加し緊急対応の実地を経験する。

チーム医療の重要性を認識し、医師にはない知識や技術を有する様々な医療職とコミュニケーションをとり、協調して医療を進める習慣をより確実なものにする。

産婦人科診療の特徴を理解し、その安全性に対する意識を高める。

4.指導体制・方略

病棟では、グループに所属しグループリーダー、後期研修医（専攻医）と共に入院患者の診療を行う。外来では指導医の初診の陪席につき、症例ごとに指導を受ける。

5.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	8:00 抄読会・朝礼 8:30 病棟,手術又は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟,手術又は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟,手術又は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟 10:00 教授回診	8:15 朝礼 8:30 病棟,手術又は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟,手術又は外来
午後	13:00 病棟又は手術 特殊外来 16:00 NICUカンファ（周産期カンファレンス）	13:00 病棟又は手術	13:00 病棟、手術	13:00 病棟	13:00 病棟又は手術 特殊外来	9:00 腫瘍カンファレンス
夜間	17:30 臨床検討会	17:30 研究会				

研修医向けレクチャー：毎週火曜日 12:00～13:00 研修医向けクリニカルカンファレンス

6.カンファレンス

- ・
- ・

7.研修活動

臨床症例検討会、抄読会、研究会、腫瘍カンファレンス、周産期カンファレンス

8.評価

1) 研修医自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

PG-EPOC を用いて自己評価を行う

研修事後レポートを用いて自己評価を行う

2) 指導医による評価

PG-EPOC を用いて評価する

研修事後レポートより評価する

3) コメディカルによる評価

PG-EPOC 又は評価表を用いて評価する

他者評価表を用いて評価する

4) 研修医による評価

PG-EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する

9.その他特記事項

10.研修中に作成する病歴要約

（**赤太字**必ず作成する、**太字**可能なかぎり作成する、他 対象疾患を診察したら作成する）

経験すべき症候

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、**発熱**、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作
胸痛、心停止、呼吸困難、下血・血便、嘔気・嘔吐、**腹痛**、**便通異常**（下痢・便秘）、腰・背部痛
排尿障害（尿失禁・排尿困難）、抑うつ、**妊娠・出産**、終末期の症候

経験すべき疾病・病態

腎盂腎炎